

ISO通信 2019 4月号

— ISO マネジメント研究所の事務所通信 —

2019 年 4 月 26 日発行

発行責任者 人見 隆之

ISO マネジメント研究所

〒279-0026 浦安市弁天 1-21-8-204

E-mail: info@iso-mi.com

<https://www.iso-mi.com>

最近の ISO に関する情報を中心に、
企業経営に役に立つ情報、組織内で使えるような
話のネタなど独自に厳選してお伝えします。

ニュース



関東西部運輸、違法な長時間労働などで事業許可取り消し

4月8日、関東運輸局は、関東西部運輸株式会社（本社：千葉県野田市）に対し、貨物自動車運送事業の経営許可を取り消すと通知した。同社は2017年5月以来、点呼の実施義務違反や違法な長時間労働をさせていたなどとして再三にわたり書類送検や事業停止命令を受けており、1月17日に行われた特別監査では累積処分点数が「許可取り消し」に相当する点を超過していた。ちなみに、同社は、ISO9001:2015 を取得している。

詳細：<https://www.logi-today.com/339743>

JIS Q 27000:2019 発行

3月20日、すでに発行されていた ISO27000:2018 を受けて、JIS Q 27000:2019（情報技術—セキュリティ技術—情報セキュリティマネジメントシステム—用語）が発行された。

詳細：https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0090/index/?bunsyo_id=JIS+Q+27000:2019

株式会社ディスコ、従業員満足規格 JSA-S1001 を開発・発行

3月25日、半導体製造装置メーカーである株式会社ディスコ（本社：東京都大田区、社長：関家一馬）は、従業員満足規格 JSA-S1001（ヒューマンリソースマネジメント -従業員満足- 組織における行動規範のための指針）を開発し、一般財団法人日本規格協会の規格制度のもとに発行したことを発表した。

詳細：<https://www.disco.co.jp/jp/news/press/20190325.html>

今月の言葉

勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし

出典：『知となる、世界の最強名言105』野村克也

この言葉は、元プロ野球の野村監督の言葉の一つとしてよくあげられるのですが、本来、江戸時代後期の平戸藩主、松浦静山の言葉だそうです。この言葉の意図は、後ろの言葉、「負けに不思議の負けなし」にあります。うまくいくのはたまたまなのだから、うまくいかないときにこそ、顧みるべき大事な事実があります。クレームなどの目立った問題は、すぐに対策を講じるものですが、単にうまくいっていないものは、案外そのままになっていることも多いように思います。そういうものを、しっかりと振り返り、対策する価値があるように思います。

マネジメントシステムで会社を変える

- その活動は、どんなパーツなのか？ -
ある営業コンサルタントからこんなことを聞きました。会社の売上を上げたいと考えるときには、売上そのものを漠然と考えるのではなく、売上はどんなパーツで組み立てられているのかを考えることだということを聞きました。具体的には、単価×数量で考えること。プロセスで考えるなら、見込み客を集める、集めた見込み客を育成する、案件化（顧客化）を行う、リピート化を図るといことです。同様に、ISOの活動をなんとかしたいと考える際、漠然と考えるのではなく、ISOの活動はどんなパーツで成り立っているのか考える必要があります。これは、その活動を計画すること、実施し、検証し、改善するということを分解して考えるだけでなく、担当者のやる気×考え方×能力ということもあわせて考えたいものです。

ISO・Pマーク取得・維持支援コンサルティング実績

ISO27001：印刷業・従業員数 100 人、ISO27001：物流業・従業員数 98 人、ISO9001/ISO27001：情報サービス業・従業員 180 人、ISO9001：内装工事業・従業員数 20 人、ISO9001：建設コンサルタント業・従業員数 22 人、ISO9001：特別養護老人ホーム・従業員数 41 人、ISO14001：情報処理業・従業員 600 人、ISO9001：ばね製造業・従業員数 45 人、ISO14001：プラスチック製造業・従業員数 50 人、ISO14001：ばね製造業・従業員数 30 人、ISO14001/ISO9001：印刷業・従業員数 10 人、P マーク：ホームページ制作業・従業員数 18 人、P マーク：情報処理業・従業員数 12 人、その他中小企業。

今月の1冊



書名：『濃霧の中の方向感覚』

著者：鷺田清一
発売日：2019年2月
出版社：晶文社
<https://amzn.to/2PxsPmP>

著者は、大阪大学の総長であった方。長い休みにじっくりと本を読みたい時、ピッタリの一冊です。著者は、先が見えない時代とよく言われるが、これは逆ではないかと述べています。つまり、見えないのではなくて、見えていてもそれにどう対処していいかわからないことが問題ではないかと。そのヒントが、この本に書かれています。

編集後記

新元号を迎えるにあたって、平成を振り返るという特集が行われていました。私にとっての平成は、実家を出て、組織を出て、独り立ちし、自立がテーマであった時代でした。新しい時代になっても、主体的に行動したいと思いますが、体力・気力の衰えが最近気になります。結局は、できることしかできないということですかね。

ソウルに行ってきました。ソウルの明洞にあったダイソー、日本と違っておしゃれな感じでした。

